

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学校名 英数学館中・高等学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☐ 中学校 ☒ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒721-8502

広島県福山市引野町980-1

E-mail hki@eisu-ejs.ac.jp

Website http://www.eisu-ejs.ac.jp/

幼児児童生徒数 男子 141名 女子 88名 合計 229名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～18歳

### 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

「食」という共通テーマを通して、フィールドワークを含んだ問題解決型授業を実施し、問題発見能力や論理的思考力、批判的思考力、コミュニケーション能力を高めることをねらいとした。

テーマ学習の内容として、地元福山の伝統や文化をふまえた上で、世界に目を向ける学習活動を行うことを柱とし、①地域遺産教育、②食の安全・健康、③環境教育、④ESD、という4つの項目を掲げた。

#### ① 「地域遺産教育」に係わる活動

中学1年生は、福山の自然・歴史・伝統文化・産業などをグループで調査しパンフレットにまとめた(資料①)。さらに、福山の特産であるクワイを用いた料理を作る予定である。中学2年生では、地元の食品工場を見学したことをふまえ、食の安全対策について調べた。高校1年生では、和食のうまみやおいしさの理由について、仮説を立てて実習・実験をし、アンケート調査やインタビューもとりにいれて結果をまとめた(資料②)。

## ② 「食の安全・健康」に係わる学習

中学2年生は、食と健康というテーマから、老人食や栄養素の偏りなどの分野に分かれて調べ学習を行い、パワーポイントを使ったプレゼンテーションを行った。さらに、食品添加物の安全について批判的にとらえ、見いだした問題点について考察した(資料③)。高校2年生では、食と栄養というテーマを設定し、「スポーツ選手の競技による食事の違い」などについて調査を行い、冊子にまとめた。

## ③ 「環境教育」に係わる活動

中学3年生で、環境問題を「人・自然・地球」のそれぞれの観点から探り、「食と文化」「食と経済」「食と土・空気」「食と天候」などのテーマで調査を行った。今後、企業や公共施設への訪問調査に発展していきたい。高校1年生は、世界各地の代表食からその国の歴史・文化・環境を考え、レポートをまとめた。

## ④ 「ESD」に係わる活動

中学3年生は、少子高齢化による農家の後継者不足の問題を取り上げ、「食の未来」に対する危機感から考察を進めた。原因や背景をふまえて事実をとらえ、改善策を検討してレポートにまとめた。高校2年生は、「食と経済」というテーマから、フェアトレードの諸課題や支援物資がもたらす経済効果などについて調査し、ポスター発表を行った。高校3年生は、食糧危機の問題を多方面から考察し、プレゼンテーションを行った(資料④)。



① 福山紹介パンフレット



③ 外国人の先生に試食アンケート



② 合成・天然着色料の実験



④ 食糧危機についてプレゼンテーション

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境    | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー                 | <input type="checkbox"/> 3. 防災                                | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性          |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動             | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産           | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育        | <input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費            | <input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク           | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) |  |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等         | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |   |  |

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

|   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力     | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度     |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度    |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間      | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等      | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動                |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 ) |  |

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

|              |
|--------------|
| 関係するホームページなど |
|--------------|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は国際バカロレア (IB) 認定校として、IB の定める 10 の学習者像を理想とし、主体的に学び、正解のない問いに自ら取り組み、自分の言葉で表現できる生徒を育てたいと考えている。ユネスコスクールとして、おもに総合学習の時間を利用し、教科の枠を越え、身近な課題から世界へと視野を広げて探究活動を行っている。共通の「食」というテーマにそって、中高一貫教育の中で学年ごとに小テーマを設定し、地元福山から全国へ、そして世界へと、段階的に視野を広げて考察を進める指導計画を立てている。自ら学びに向かう姿勢を育てるために、授業の導入時に工夫をしたり校外の施設を利用したりして、生徒の興味を引き出せるよう改善を重ねている。また、実験や検証の場面を取り入れたり、インタビューやアンケートを行ったりして、班活動での協働によって意見の集約を行うようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では総合的な学習の時間を、中学では「GSP (Global Studies Program)」、高校では「GLP (Global Leaders Program)」という科目名とし、全学年全教員で取り組んでいる。各学年の取り組みは、教員間で報告しあって共有し、次年度に引き継いでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

評価の方法や基準について、内部・外部とも確立されていない。ただし、高校３年生の学年で MI (多重知能) 調査による評価を行った結果、言語的知能と対人的知能の低かった生徒の伸びが著しく向上しただけでなく、全般的に８つの知能が向上したことがわかった。今後、このような評価の方法についても研究し、導入していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学園祭においてポスター等による展示発表をしている。また、学習の成果を保護者も含めた報告会でプレゼンテーションをした学年もある。まだ、校内での活動に留まっており、活動成果の発信による成果はあまり確認できていない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

校内での活動に留まっており、学校以外の団体との交流はできていない。ESDコンソーシアムなどの研修会にも参加していきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

他のユネスコスクールとの交流はしていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

中学1年生では地元の博物館と(株)JFEの見学、中学2年生では手延べそうめんやフリーズドライの味噌汁の会社の見学をした。全国から注目されている地元の企業と交流をすることで、企業の社会貢献のあり方を考えさせる機会とすることができ、消費者としてだけでなく社会的な視点でそれらの企業をみることができるようになった。また企業からも本校の教育方針を理解してもらうことができた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

中高一貫の「食」というテーマを軸に展開してきたが、この枠にこだわらず探究のテーマを広げていく予定である。新たに『ENAGEED』というテキストを導入し、「新しい価値の創造」や「自己の可能性の拡大」をいう視点も含めて、ESDを核とした課題解決型の活動を進めていく予定である。とくに、SDGsの項目に沿って視野を世界に向け、正解のない課題に積極的に関わる姿勢を育てたい。また、校外の施設や企業の協力をえながら活動の幅を広げ、英語によるコミュニケーションの機会も増やしていく予定である。今までと同じく総合的な学習の時間を活用し、全学年で学校全体の活動として取り組んでいく。